

第2章 うるま市の概要



第2章 うるま市の概要

2-1 位置・行政区

(1) 位置

本市は、沖縄本島中部の東海岸に位置しており、東に金武湾、南に中城湾の両湾に接しています。市域は北側に金武町と恩納村に接する石川地域、中央は沖縄市に接する具志川地域、南東側に広がる勝連半島の北方には与那城地域、南方は勝連地域となっています。本市の総面積は、8,614ha（国土地理院 平成24年）です。また、東方海上には8つの島々があります。

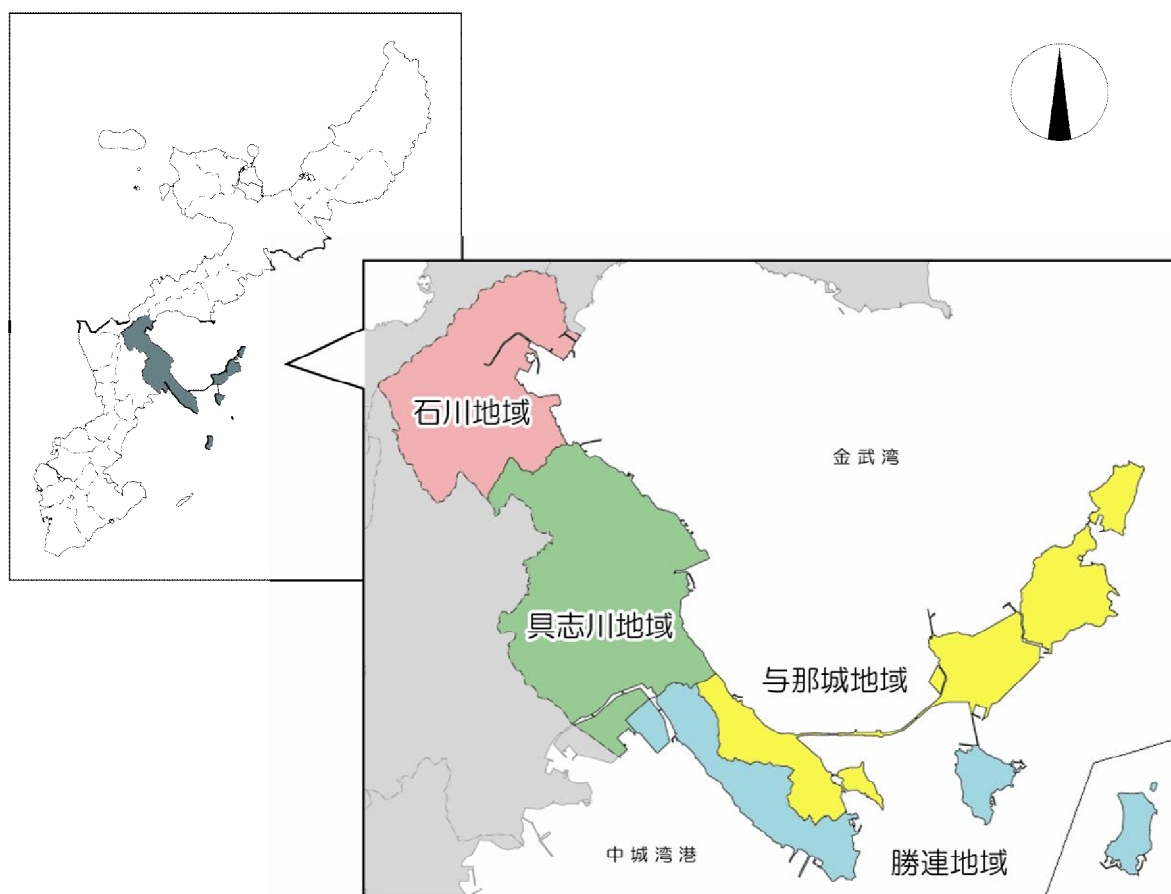


図 2-1.1 うるま市の位置

(2) 行政区

本市の行政区は、63 自治会から構成されています。

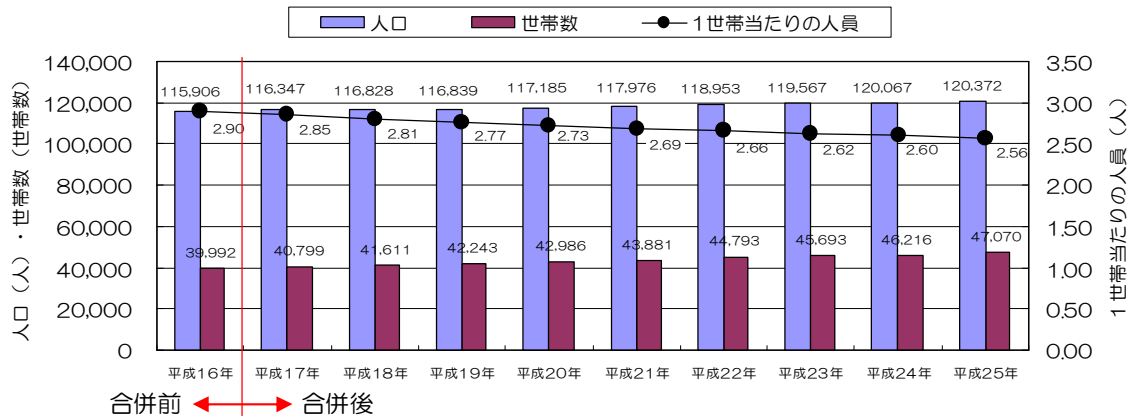
表 2-1.1 本市の行政区（自治会）

番号	地域	行政区	番号	地域	行政区
1	具志川地域	具志川	31	石川地域	曙
2		田場	32		南栄
3		赤野	33		城北
4		宇堅	34		中央
5		天願	35		松島
6		昆布	36		宮前
7		栄野比	37		東山
8		川崎	38		旭
9		西原	39		港
10		安慶名	40		伊波
11		平良川	41		嘉手苅
12		上平良川	42		山城
13		兼箇段	43		石川前原
14		米原	44		東恩納
15		赤道	45		美原
16		江洲	46	勝連地域	南風原
17		宮里	47		平安名
18		喜仲	48		内間
19		上江洲	49		平敷屋
20		大田	50		津堅
21		川田	51		浜
22		塩屋	52	与那城地域	比嘉
23		豊原	53		照間
24		高江洲	54		与那城西原
25		前原	55		与那城
26		志林川	56		饒辺
27		新赤道	57		屋慶名
28		みどり町1、2	58		平安座
29		みどり町3、4	59		桃原
30		みどり町5、6	60		上原
			61		宮城
			62		池味
			63		伊計

出典：うるま市ホームページ 各課の案内 市民部 市民生活課 自治会（公民館）に関すること

2-2 人口・世帯数

平成25年における本市の人口は120,372人、世帯数は47,070世帯となっています。世帯数は毎年増加していますが、1世帯当たりの人員が減少していることから、核家族化の進行が伺えます。



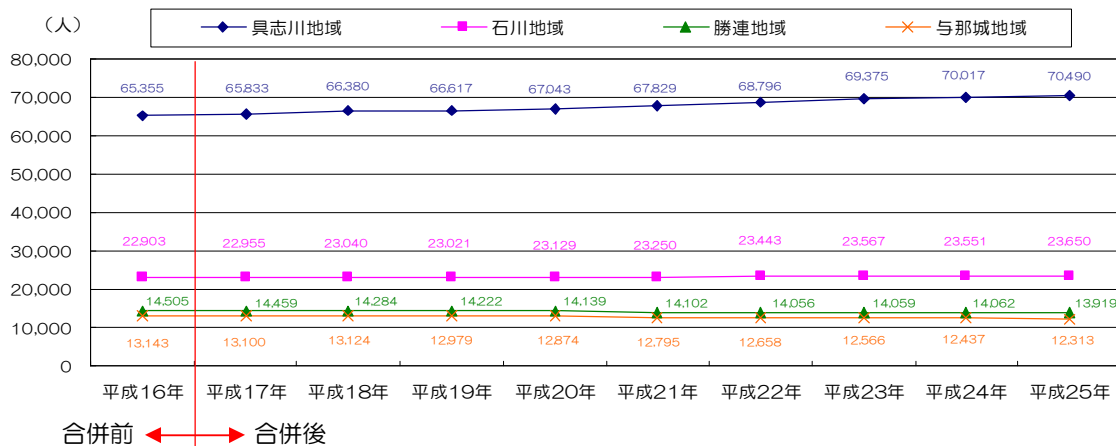
※ 各年12月末現在。

出典：うるま市統計書 平成23年版（うるま市 平成25年3月）

うるま市ホームページ うるま市の人口 過去の人口統計資料

図2-2.1 本市の人口及び世帯数

過去10年間の人口を比較すると、具志川地域と石川地域は増加傾向にあります。



※ 各年12月末現在。

出典：うるま市統計書 平成23年版（うるま市 平成25年3月）

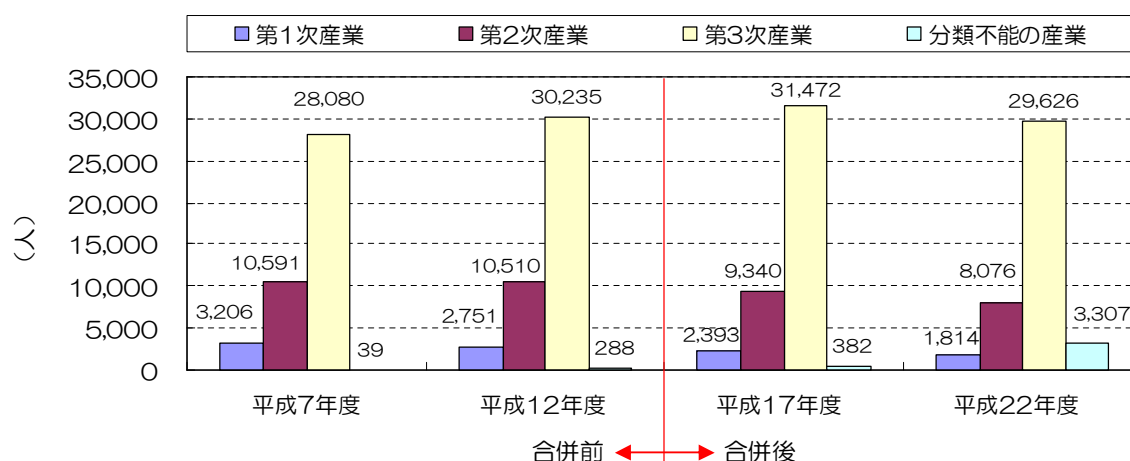
うるま市ホームページ うるま市の人口 過去の人口統計資料

図2-2.2 地域別の人口

2-3 産業

(1) 産業構造

本市の主な産業は、平成22年度において、第1次産業が1,814人（4.2%）、第2次産業が8,076人（18.9%）、第3次産業が29,626人（69.2%）、分類不能の産業が3,307人（7.7%）となり、産業別就業者数からみて、第3次産業を中心とする都市型の産業構造となっています。また、経年変化をみると、第3次産業の就業人口は、平成17年度が31,472人と高くなっていますが平成22年度には減少に転じています。



※ 日本標準産業分類（平成14年3月改訂）の産業大分類により、第1次産業は、農業、林業、漁業、第2次産業は、鉱業、建設業、製造業、第3次産業は、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）としています。なお、分類不能の産業とは、産業分類上、いずれの項目にも分類しえない事業所が分類されています。これは主として調査票の記入が不備であって、いずれに分類すべきか不明の場合又は記入不詳で分類しえないものです。

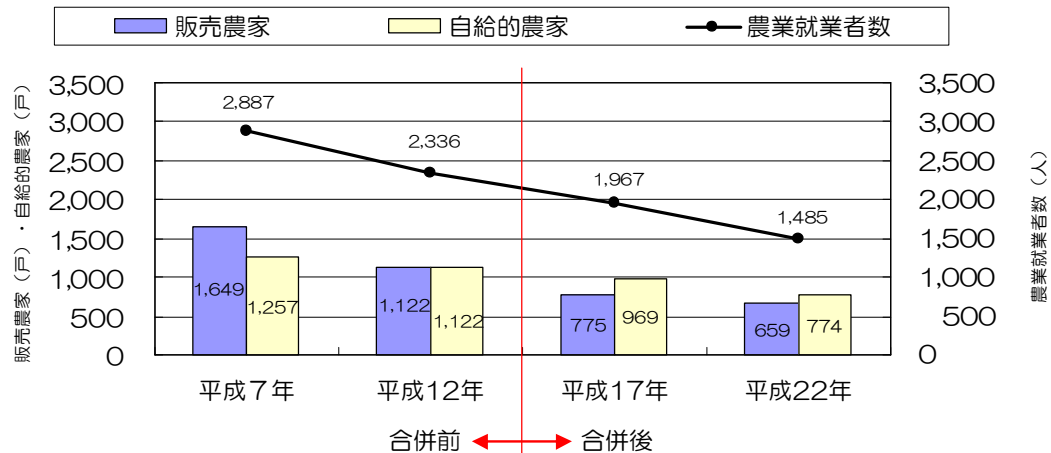
出典：平成7年～平成22年 国勢調査 総務省統計局

図 2-3.1 産業別就業者数の推移

(2) 各産業の現状

1) 農業

平成22年における本市の農業就業者数は1,485人で、総農家数は1,433戸となっています。経年変化をみると、農業就業者数及び農家数ともに減少傾向にあります。



※ 各年10月1日午前0時現在

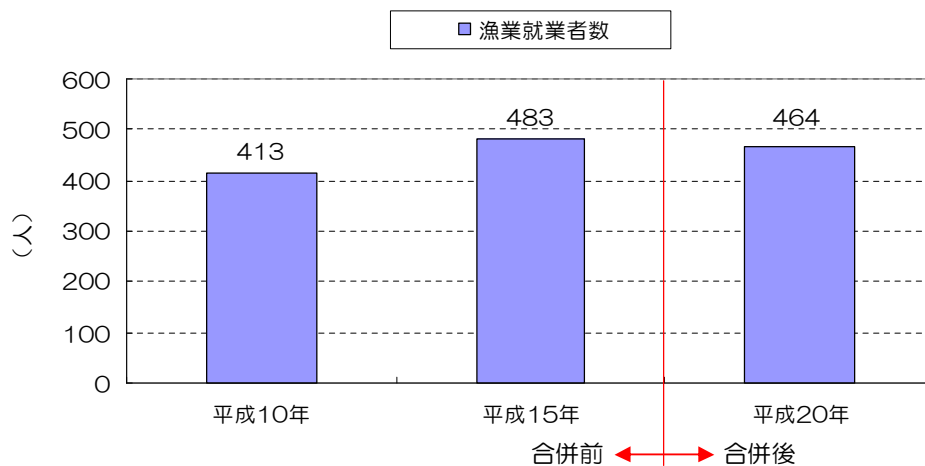
出典：農業関係統計 沖縄県農林水産部 平成25年3月

平成22年の農業就業者数については、『平成22年国勢調査』（総務省統計局ホームページ）

図2-3.2 農家数及び農業就業者数

2) 漁業

平成10年～平成20年における本市の漁業就業者数は、平成15年が最も多く483人でしたが、平成20年は464人に減少しています。



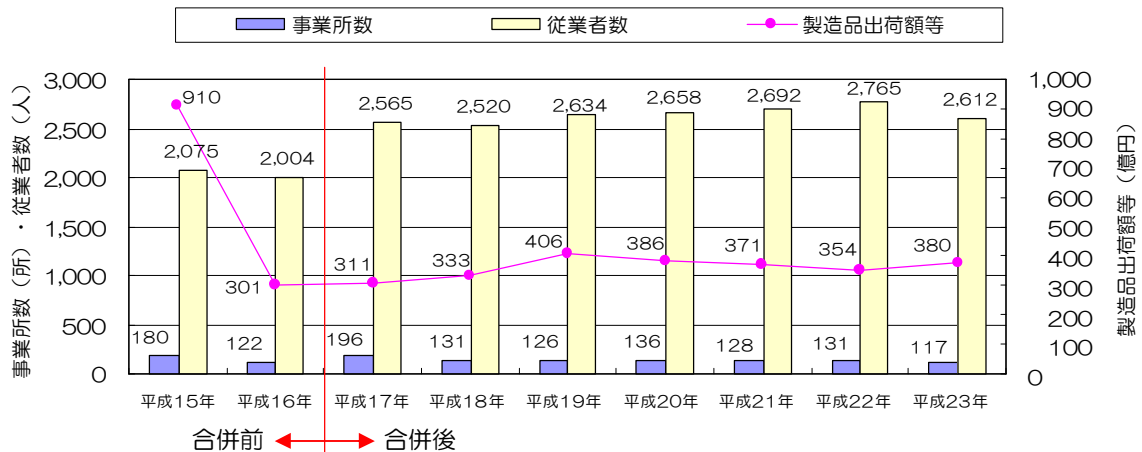
※ 各年11月1日現在

出典：沖縄県統計年鑑 平成12年度～平成24年度 沖縄県統計協会

図2-3.3 漁業就業者数

3) 製造業

事業所数は、平成17年が196事業所と最も多く、その後は減少傾向にあります。従業者数は、平成18年に若干減少したものの、その後は横ばいに推移しています。製造品出荷額等は、平成15年の約910億円と最も高かったものの、平成16年には約3分の1程度に減少しています。また、平成16年から平成19年まで緩やかな増加傾向にありましたが、その後はほぼ横ばいに推移しています。



※ 各年12月末日現在

出典：うるま市統計書 平成23年版（うるま市 平成25年3月）

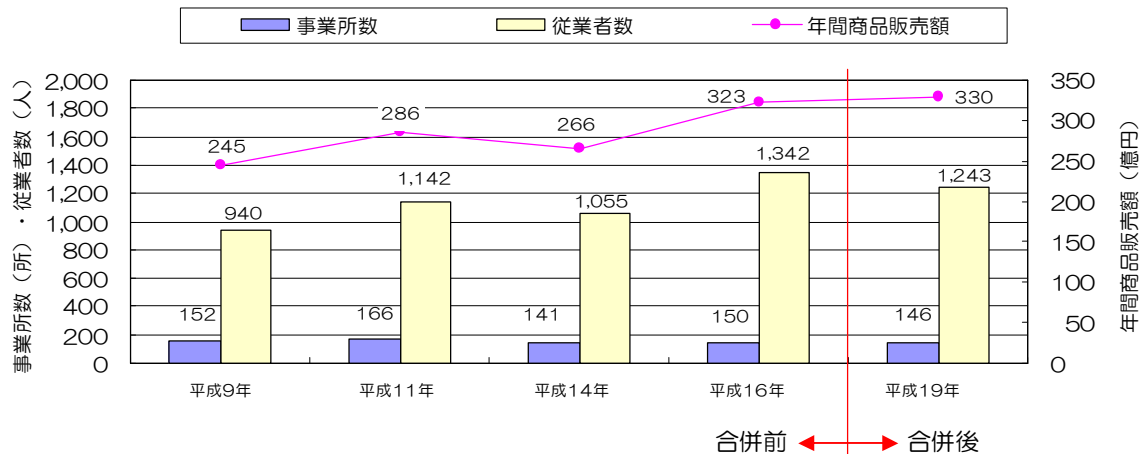
沖縄県統計年鑑 平成25年版 沖縄県統計協会

図2-3.4 製造業の事業所数、従業者数及び製造品出荷額等

4) 商業（卸売、小売業）

①卸売業

事業所数は、平成9年から平成19年までほぼ横ばいに推移しています。
 従業者数は、平成16年で1,342人と最も多く、その後は減少しています。
 年間商品販売額は、概ね増加傾向にあり平成19年では330億円でした。



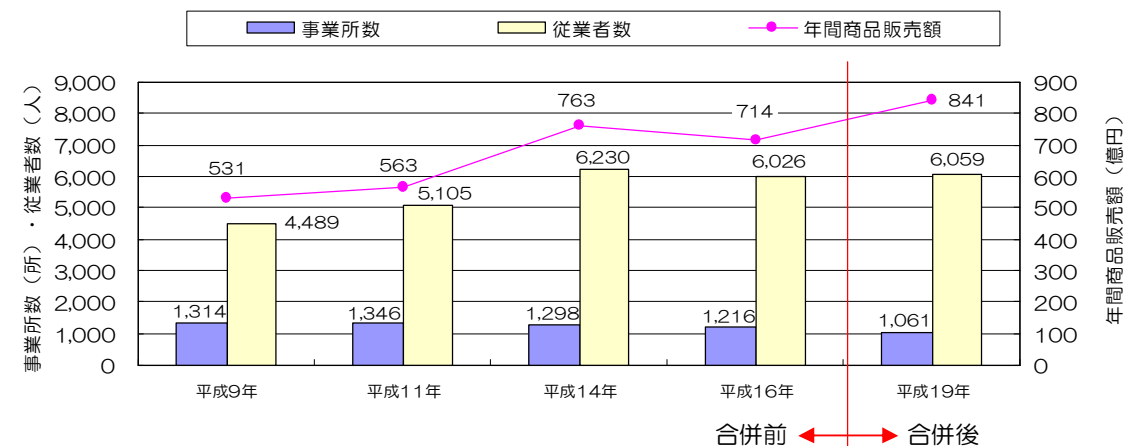
※ 平成11年は7月1日現在、平成9年、平成16年及び平成19年は、6月1日現在
 出典：うるま市統計書 平成23年版（うるま市 平成25年3月）

図2-3.5 商業（卸売業）の事業所数、従業者数及び年間商品販売額

②小売業

事業所数は、平成11年が1,346事業所と最も多く、その後は減少傾向にあります。
 従業者数については、平成14年で6,230人と最も多く、その後はほぼ横ばいに推移しています。

年間商品販売額は、平成9年から平成19年にかけて、増加傾向にあります。



※ 平成11年は7月1日現在、平成9年、平成16年及び平成19年は、6月1日現在
 出典：うるま市統計書 平成23年版（うるま市 平成25年3月）

図2-3.6 商業（小売業）の事業所数、従業者数及び年間商品販売額

2-4 土地利用

本市の土地利用（地目）の状況は、農地の割合が最も高く 24.2%、次いで宅地の 21.5%、山林の 17.2%となっています。

地域別の高い割合の項目をみると、具志川地域は宅地（25.2%）、石川地域は農地（26.7%）、勝連地域は山林（27.9%）、与那城地域は宅地（30.4%）となっています。

表 2-4.1 地域別土地利用（地目）の状況

単位：ha

項 目		具志川地域	石川地域	勝連地域	与那城地域	合計
自然的土地利用	農地	737.0	561.1	268.4	520.6	2,087.0
	％	22.9	26.7	19.6	27.0	24.2
	山林	302.3	403.8	382.0	391.6	1,479.6
	％	9.4	19.2	27.9	20.3	17.2
	水面	17.8	23.7	5.8	6.1	53.5
	％	0.6	1.1	0.4	0.3	0.6
その他		274.3	141.3	78.3	136.8	630.8
	％	8.5	6.7	5.7	7.1	7.3
都市的土地利用	宅地	812.1	291.7	162.0	586.2	1,852.1
	％	25.2	13.9	11.9	30.4	21.5
	公共・公益用地	255.8	133.3	48.6	38.2	475.9
	％	7.9	6.3	3.6	2.0	5.5
	道路	361.0	235.4	151.1	216.2	963.8
	％	11.2	11.2	11.0	11.2	11.2
その他		460.4	311.3	271.2	31.5	1,074.4
	％	14.3	14.8	19.8	1.6	12.5
合 計		3,220.8	2,101.6	1,367.5	1,927.1	8,617.0
％		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

出典：都市計画基礎調査 中部広域都市計画区域 平成 23 年度 うるま市

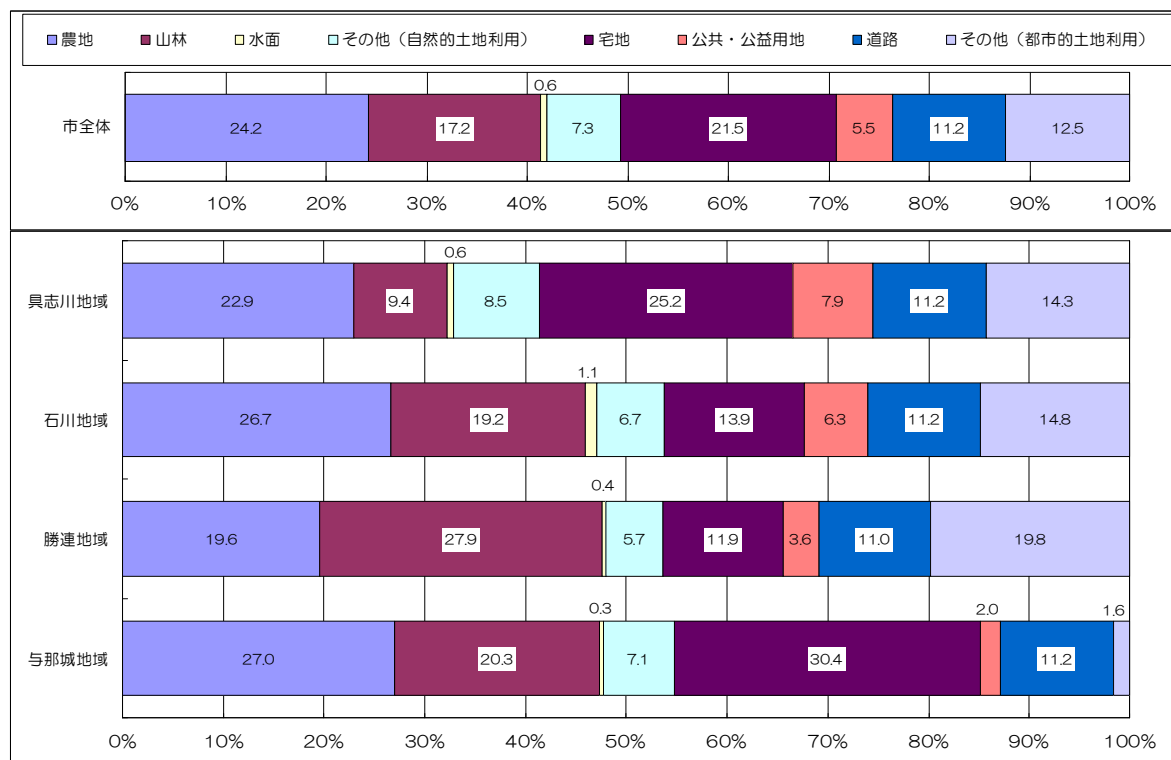


図 2-4.1 地域別土地利用（地目）の構成比

2-5 道路網と交通量の状況

平成22年度に国土交通省が道路交通センサス(全国道路・街路交通情勢調査)を実施しています。

これによると、平日の日交通量は、沖縄自動車道では41,701台/24h、国道329号では20,000台/24h以上の地点が1カ所、10,000台/24h以上の地点が3カ所あります。

また、主要地方道では、20,000台/24h以上の地点が2カ所、10,000台/24h以上の地点が5カ所あります。一方、一般県道では、20,000台/24h以上の地点が1カ所、10,000台/24h以上の地点が10カ所、10,000台/24h以下の地点が6カ所あります。

表2-5.1 道路別及び地域別による平日の日交通量の状況

単位：台/24h

		具志川地域	石川地域	与那城地域	勝連地域
沖縄自動車道		—	41,701	—	—
国道	329号	15,823	21,020	—	—
			12,620		
			14,190		
主要 地方道	伊計平良川線 (県道10号線)	11,622	—	10,079	20,982
	石川仲泊線 (県道73号線)	—	12,280	—	—
	沖縄石川線 (県道75号線)	11,690 19,975	—	—	—
	沖縄環状線 (県道85号線)	27,833	—	—	—
一般 県道	6号線	—	11,801	—	—
	8号線	14,263	—	—	15,339
		17,221			
	16号線	13,397	—	—	—
		7,005			
	33号線	15,154	—	—	—
	36号線	13,787	—	—	—
		4,273			
		2,484			
	37号線	—	—	11,053	—
				746	
				3,164	
	具志川環状線 (県道224号線)	22,753	—	—	—
		17,967			
		10,970			
	浜比嘉平安座線 (県道238号線)	—	—	1,789	—

出典：沖縄県土木建築部道路街路課ホームページ 沖縄県の道路（道路事業パンフレット） 沖縄県の道路 2013

